

富山大学理学部同窓会2015記念講演会



日時: 2015.07.25(土) 13:10~14:40

会場: 富山大学理学部多目的ホール



(地震/噴火に関心ある一般市民大歓迎, 聴講無料, 最大200人)

演題 「最近の地震/噴火の頻発は活動期の特徴か
—来たるべき大規模災害に備える私たちの対処方法—」

講師:  竹内 章 先生 (大学院理工学研究部(理学))

地球科学科 教授 地球ダイナミクス分野)

講演要旨:

2014年は御嶽山水蒸気噴火をはじめ火山活動の当たり年などと言われましたが、今年も口永良部島や浅間山の噴火があり活発です。政府も国土強靱化の基本計画、アクションプラン2014、2015を次々と発表し、全国の自治体に強靱化地域計画の策定を求めています。

それにしても地震・火山活動は本当に活発化しているのか、南海トラフの大規模地震は切迫しているのか、という疑問は常につきまといます。

この観点から、とくに地震・津波災害や火山災害の特徴やリスクについて、専門の地形・地質学方面からみた解説を行ない、個別のリスクごとに応急対処を事前復興や結果防災の考え方や事前防災行動計画による地域防災計画と強靱化地域計画をマッチさせるべきことをお話いたします。

申し込み不要(当日直接会場にお越し下さい)

問合せ: e-Mail = alumni4@sci.u-toyama.ac.jp

理学部同窓会事務局 電話: 076-415-2077(直通, 火~木, AM)